

# スマホ会議 in 近江八幡～ネットモラル研修会

主催：滋賀県PTA連絡協議会 平成30年7月1日13:30～16:30 滋賀県婦人会館

スマホにかかわる活動は、今年度で5年目を迎えることになりました。昨年度から県内市町連Pから1連Pを主として行い市町へ広げることになり、野洲市連Pと連携し「スマホ会議 in 野洲」を行うことができました。今年度は、近江八幡市PTAと連携し、滋賀県婦人会館で「第1回スマホ会議 in 近江八幡」を開催することができました。

参加者は、役員スタッフ等全体で54名でした。小学生7名 中学生10名 高校生2名と、毎年お世話になっている兵庫県立大学准教授 竹内和雄先生にコーディネーターとして、また、ソーシャルメディア研究会（兵庫県立大学生）にサポーターとしてお世話になりました。昨年度参加していた児童生徒の皆さんにも数名参加してもらい、特にOB・OG3名に参加してもらい、学生とともにサポートをしてもらいました。スタッフとして県P研修委員をはじめ、近江八幡市Pの保護者の皆さんにも多く参加していただきご支援をいただきました。主は子どもたちですが、大人もまじえてみんなで作って上げていくものだと実感しました。

毎年のことですが、子どもたちは第1回目ということもあり、緊張から始まりだんだん笑顔になっていきました。心が和むゲームをサポートの学生さんが行い、竹内先生の話し方などで、緊張感が徐々とけていきました。

さて、ワークショップでは、スマホの良いところ悪いところについて一人一人が付箋に書き、同じような内容をグループにまとめタイトルをつけていきました。

## <付箋に書く>

個人の経験や、どこかで聞いたり学んだりしたものを書いているようでした。



## <班でまとめる>

一人一人が書いた付箋を班全体で似ているものを集めて模造紙に貼っていきます。

## <タイトルを考える> (スマホの良し悪しに分ける)

似たものを集めているので、共通した内容について



タイトルをつけていきます。

主なタイトル名「娯楽」「健康」「交流」「ショッピング」「音楽」「動画」「自然情報（気象）」「友人関係」「詐欺」「個人情報」「心身」「依存症」等  
「ライン（トーク）」「ヤフー」「ユーチューブ」のようにアプリごとにそれぞれの良し悪しを分けた班もありました



大人の班も含めて、まとめた模造紙を使って、発表が行われました。

どの班もスマホの「良いところ」と「悪いところ」は、わかっているようです。便利なものほど危険なところがあるということに気が付きながらもはまってしまう弱さもあるように感じます。

タイトルを見るだけでも、子どもたちの生活にスマホ（SNS）が入り込んでいることは間違いないようです。子どもだけでなく、今や大人もスマホに関して同じ状況になってきているので、子どもたちの発表から学ぶことも多かったのではないのでしょうか。

子どもたちが本音で話してくれることによって、大人もびっくりすることがあるかもしれませんが、現実を知りそこから子どもと向かい合うことが始まっていくのではないのでしょうか。参観された方の多くは、子どもたちの発表を楽しく見ておられました。スマホの危険性を知り、正しく判断しスマホの良いところを活用して行かなければならない時代なのでしょう。

--	--